

2023年度採用 初期臨床研修医募集要項

1 プログラム名称

東京医科大学八王子医療センター研修プログラム

2 募集定員

・15名
※定員数の正式決定は、後日東京都福祉保健局の通知により決定します。

3 出願資格

原則として第117回日本医師国家試験を受験する者、あるいは医師国家試験に合格し新たに臨床研修を行う者。

4 選考方法

東京医科大学病院、茨城医療センター、八王子医療センターの採用試験を合同で実施します。

マッチング順位の基準は各施設で異なります。

(1) 試験日：①2022年8月20日(土) 午前：筆記試験 午後：面接
②2022年8月22日(月)

※所属大学の卒業に関わる行事、または他施設の採用試験により受験できない場合のみ②を選択可

(2) 試験場所：〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-7-1 東京医科大学病院

(3) 試験内容：筆記試験(基礎医学問題)、面接
※鉛筆・消しゴムを持参すること。

(4) 結果発表：医師臨床研修マッチング協議会の最終結果発表による。
発表日：2022年10月27日(木)

5 出願について

(1) 出願期間 2022年7月4日(月)～2022年8月3日(水) 必着

(2) 出願方法

下記の書類を第1希望の施設へ郵送(書留)もしくは、各施設の卒業臨床研修センター事務局に持参してください。

当院送付先：〒193-0998 東京都八王子市館町1163番地 東京医科大学八王子医療センター 卒業臨床研修センター事務局

(3) 出願書類

a. 臨床研修医願書(当院指定。ダウンロード(pdf形式)してご記入ください)

b. 地域枠の従事要件に関する確認書

c. エントリーシート(pdf形式)

d. CBT個人別成績表(写し)

e. 成績証明書(卒業見込みの者は5年次までのもの)

f. 卒業(見込)証明書

g. 推薦状1通(書式は自由。ダウンロード(pdf形式)してご利用もできます) 推薦状の宛先は、第1に希望する施設の施設長宛にて作成してください。推薦状作成者は学(部)長や担当教員(担任)、クラブ顧問等が挙げられます。

h. 84円分の郵便切手

i. 長形3号(120×235) 封筒1枚(受験票送付用)

※封筒には、返信先住所を記載し、h.の切手を貼付すること。

j. 受験理由証明書(書式は自由)

※②試験日(8/22月)受験を希望する方のみ提出

8月20日の当院初期臨床研修医採用試験を受験できない理由と

なる、所属大学のカリキュラム表や、他施設の採用試験日が分かる書面等をご用意ください

※東京医科大学出身者はe～g(成績証明書、卒業(見込)証明書、推薦状)は不要。

6 待遇・その他

1) 給与：月額約25万円(基本給19万円+奨励金6万円)

※日直 月1回、当直 週1回(上限5回) 日・当直手当は別途支給。

※勤務時間は原則9時～17時 なお当直明けは勤務免除とする。

2) 身分：常勤(臨床研修医)

3) 宿舍：敷地内に寮完備、希望者は利用可能。

4) 社会保険、労災保険、雇用保険：加入

5) 健康診断：年2回

7 病院見学・お問い合わせ

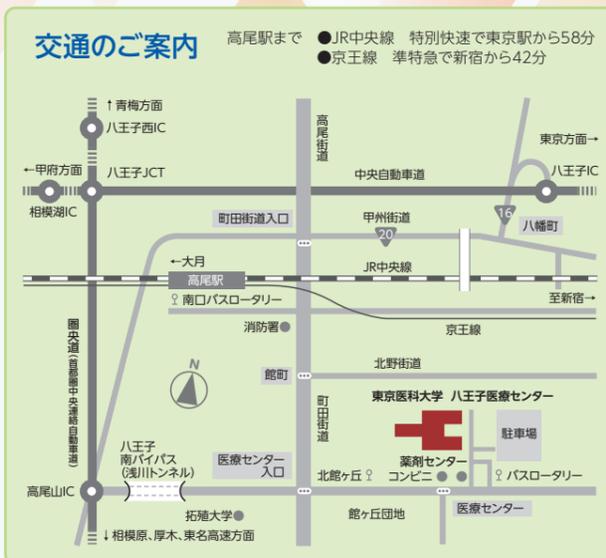
東京医科大学八王子医療センター

卒業臨床研修センター事務局

TEL: 042-665-5611(内線2392) 受付時間 9:00～17:00

E-mail: h-kenshu@tokyo-med.ac.jp

◆病院見学はこちら: www.hmc-kenshu.jp/kengaku.html



適度な研修医人数で十分な経験と手の行き届いた指導を

研修医数が1学年約15名と病院の規模・病床数・症例数から考えると適度な人数であり、経験の偏りが生まれることなく、皆、万遍なく経験を積むことができます。また各科指導医の先生方も研修医全員のことを把握して下さっているため、全員に手の行き届いた適切な指導を受けることができます。

NPO法人 卒業臨床研修評価機構の認定病院です

当院は平成19年、全国の大学病院に先駆けてNPO法人 卒業臨床研修評価機構の認定を全国の大学病院「第1号」で獲得し、現在も継続受審・認定を受けております。

今後も厚生労働省指定の「基幹型臨床研修病院」として、日本の未来を担う医師の養成に力を注いでいきます。



臨床研修に係る取組み、活動、イベント情報他、研修医採用情報などの情報発信を行っています。アクセスは、当院ホームページのバナーから「卒業臨床研修センター」→「facebook」へ。
(www.tokyo-med.ac.jp/hmc/)

2023年度採用

初期臨床研修医募集案内



研修医宿舎

『緑風館』

のご案内

1階には多目的ホールがあり映像・音響設備等、整っており、国際会議や研修医のカンファレンスに使用できる会議室として利用できます。

次に院内保育所。こちらは0歳～5歳までのお子さんをお預かりすることができます。また小児科先生方のバックアップを受け病児保育が可能となっており、突発的な発熱や風邪などで通常は保育所で預かれない子供を預かることが可能となっています。

2階～5階は住居スペースとなっていますが、2階、3階にはラウンジ・スペースを設けており、自販機、電子レンジを設置し、居住者の団楽・くつろぎスペースを完備しています。

東京医科大学八王子医療センター
TOKYO MEDICAL UNIVERSITY HACHIOJI MEDICAL CENTER

新たなイノベーションを求めて臨床研修を



病院長
池田 寿昭

東京医科大学八王子医療センターは、1980年に八王子市と学校法人東京医科大学からの強力なサポートを得て開設された病院です。そして、現在まで八王子市を含め南多摩医療圏の中核病院として機能してきております。奇しくも、八王子市は、中核市として認定された地域で、八王子市が誇る「市民力、地域力」を活かし、さらにアップグレードできる街づくりが行われております。その意味では、当センターも、「スタッフ力と病院力」を結集して、地域医療に積極的に貢献できる病院を目指しております。

近年は、医学生及び臨床研修医に対する卒前、卒後の教育システムの充実も重要視されており、当センターは、2007年に全国の大学病院に先駆けて第一号の卒後臨床研修評価機構認定を受けております。当センターの特徴としては、三次救命救急センター、移植医療、がん診療拠点を掲げておりますが、「heart attack, brain attack」に対する教育指定施設として地域医療に貢献してきております。もちろん、そのほかの診療科においても、それぞれ積極的に臨床、教育、研究が行われております。

ここ数年は、研修医からも絶大な人気のある病院として認知されています。

当センターは、都会の雰囲気と郊外の自然の両方を体験できる魅力ある立地にあり、何よりも教育に熱心な指導医の先生方が皆さんと一緒に仕事ができることを心待ちにしております。



■施設概要

2022年4月1日現在
開設：昭和55年4月1日
所在地：東京都八王子市館町1163番地
敷地面積：48,865㎡
建築面積：14,499㎡
建築延面積：52,420㎡
病床数：総病床数 610床（一般602床、感染症8床）
第三次救命救急センター 40床

研修医の主な出身大学

東京医科大学、日本大学、慶應義塾大学、札幌医科大学、弘前大学、徳島大学、鳥取大学、愛知医科大学、獨協医科大学、東京大学、大分大学、和歌山県立医科大学、旭川医科大学、山梨大学、新潟大学、杏林大学、日本医科大学、昭和大学、東邦大学、信州大学、横浜市立大学、東海大学、金沢大学、島根大学、岐阜大学、近畿大学、秋田大学、聖マリアンナ医科大学、岩手医科大学、広島大学、帝京大学、川崎医科大学、他

緑豊かな八王子で充実した臨床研修を



卒後臨床研修センター長
河地 茂行

東京医科大学八王子医療センターは東京都八王子市の観光名所で名高い高尾山のふもとにある、風光明媚な自然に囲まれた病院です。先進医療に取り組むと共に、約56万人を抱える八王子市を含む南多摩医療圏の地域医療を支える基幹病院としての役割も果たしています。

当院の特徴の第一は、豊富な臨床経験を積めることです。研修医を1学年約15名に限定しており、各診療科では圧倒的に高い経験値を身につけることができますと思います。

第二の特徴は当院の多様性(Diversity)です。先進医療に取り組むとともに、地域医療を支えるラストホープを担う病院であること、地域がん診療連携拠点病院としてあらゆるがんを扱うとともに心筋梗塞や不整脈、脳卒中から認知症に到るまで多彩な疾患を扱っていること、腎・肝を主とした臓器移植を手がける移植実施施設であるだけでなく、臓器提供施設連携体制構築事業の拠点病院として脳死下臓器提供にも積極的に取り組んでいること、24時間365日応需する救急医療体制で3次はもちろん2次救急にも対応する一方で、年間5000例を越える待機手術を粛々とこなす手術部など、当院で学べないことは無いと言っても過言ではないほど多様な医療に取り組んでいます。

第三の特徴は、これらを支える医療従事者の温かさです。老若男女分け隔てない医師・看護師・メディカルスタッフは出身大学や経歴も様々で、それぞれの個性を生かして「患者さんとともに歩む良質な医療の実践」という共通の目標を持って日々働いています。チーム医療の輪は診療科間だけでなく、看護師やメディカルスタッフ・職員との間にも着実に拡がり成果を挙げています。研修医が日々接する病棟スタッフの温かさは特筆に値します。

これらの特徴を持つ当院の臨床研修は、研修医が望むことを叶えるための良質な研修を目指しています。研修医宿舎(緑風館)を完備し、日々の研鑽のための自習室や図書館はもちろん、親睦を深めるためのラウンジにまできめ細やかに心を配っています。

研修医に家族の一員のように寄り添い、困った時には頼りになる卒後臨床研修センターが常にあなたと共にあります。迷うことなく、当院での研修に飛び込んで下さい。心よりお待ちしております。

■ 研修体制 ■	
研修管理委員長	池田 寿昭 (病院長)
研修センター長	河地 茂行 (消化器外科・移植外科)
研修副センター長	尾田 高志 (腎臓内科)
	青木 昭子 (リウマチ性疾患治療センター)
	佐野 圭二 (整形外科)
センター長補佐 (メンター)	佐野 達 (消化器外科・移植外科)
	酒井 敬史 (腎臓内科)

— あなたの期待を裏切らない研修を常に提供しています —

募集定員：15名 東京医科大学八王子医療センター研修プログラム

各研修医の個性・意欲を尊重し、必修科以外を自由選択36週とする。1年目に内科24週(3科選択)、救急12週(救命救急センター8週以上、麻酔科・特定集中治療部の選択も可能)、外科①、外科②(病院必修)、小児科、産科・婦人科、精神科各4週のうち48週を選択する。2年目は地域医療4週を必修とし、1年目で選択していない必修科を2科(各4週)選択、残り36週を自由選択とする。また、必修分野において一般外来での研修4週と在宅医療での研修を含めることとする。



内科 24週 下記の診療科(9科)から選択(1つの診療科は8週とする) 1.血液内科 2.呼吸器内科 3.循環器内科 4.糖尿病・内分泌・代謝内科 5.消化器内科 6.腎臓内科・血液浄化療法室 7.脳神経内科 8.高齢診療科 9.リウマチ性疾患治療センター
救急 12週 救命救命センター8週以上 麻酔科 特定集中治療部 (ICU)
地域医療 4週 八王子医師会会員の医院・病院(18ヶ所)、大島医療センター(東京都)、南部町医療センター(青森県)・屋久島徳洲会病院(鹿児島県)
外科②(病院必修) 4週 13科 1.呼吸器外科 2.心臓血管外科 3.消化器外科・移植外科 4.腎臓外科 5.脳神経外科 6.耳鼻咽喉科・頭頸部外科 7.乳腺科 8.整形外科 9.泌尿器科 10.形成外科 11.眼科 12.皮膚科 13.歯科・口腔外科

外科①(5科)、小児科、産科・婦人科、精神科 各4週 外科5科(呼吸器外科、心臓血管外科、消化器外科・移植外科、腎臓外科、脳神経外科) 小児科【大館市立総合病院(秋田県)でも可】 産科・婦人科【大館市立総合病院(秋田県)でも可】 精神科【東京医科大学病院(新宿区)、柏崎厚生病院(新潟県)、大館市立総合病院(秋田県)、駒木野病院(八王子市)、平川病院(八王子市)】
選択 36週 下記の診療科から選択 1.内科9科 2.外科5科 3.麻酔科 4.小児科 5.産科・婦人科 6.精神科 7.救命救急センター 8.特定集中治療部 9.病理診断部 10.放射線科 11.形成外科 12.整形外科 13.乳腺科 14.眼科 15.耳鼻咽喉科・頭頸部外科 16.皮膚科 17.泌尿器科 18.臨床検査医学科 19.臨床腫瘍科 20.総合診療科 21.感染症科 22.東京医科大学病院 38科 23.東京医科大学茨城医療センター 24科

■研修プログラム参加診療科

血液内科/循環器内科/糖尿病・内分泌・代謝内科/消化器内科/呼吸器内科/腎臓内科・血液浄化療法室/脳神経内科/高齢診療科/総合診療科/リウマチ性疾患治療センター/臨床腫瘍科/呼吸器外科/心臓血管外科/消化器外科・移植外科/腎臓外科/乳腺科/脳神経外科/整形外科/形成外科/小児科/産科・婦人科/眼科/耳鼻咽喉科・頭頸部外科/皮膚科/泌尿器科/（歯科・口腔外科）/感染症科/麻酔科/救命救急センター/放射線科/臨床検査医学科/病理診断部/特定集中治療部



東京医科大学卒
研修医2年目

得られる経験と知識のバランスが非常に良い、市中病院のような大学病院！

私が考える八王子医療センターの一番の魅力は、東京医科大学病院の系列病院であるということです。昨年私が研修病院を考える際によく聞いた言葉で、「頭で考えるより先に体が動くようになる」、「戦力として扱われるから自然と力が身につく」などがありました。

実際に研修をしてわかりましたが、考えることなしに体は動きません。また、戦力として扱われるためには、本を読んでも勉強したり、上級医から教わったことを実際にやってみるというサイクルが非常に大事です。

八王子医療センターは「指導医が豊富で、多くの経験が積める」という点においてバランスの良さが際立っており、他の研修病院には無い魅力を感じています。

八王子医療センターでの研修は経験できる手技の種類・回数も多く、その時の経験値を考慮して指導医が教えてくれます。研修医はより多くの手技を経験することが大切ですが、これは病院の色が強くなります。八王子医療センターには研修医時代に多くの手技を経験した先生方が後期研修医をはじめ多くいらっしゃり、研修医にはより多くの手技を経験させてあげたい！という考えをもってくださっています。

1年間の研修において様々なことを経験し、また同期にも恵まれて私生活も充実しており、この病院で研修できて本当に良かったと感じています。

研修病院を選ぶためにあれこれ悩む時間は楽しいですが、病院見学に行ったり大学の試験勉強なども重なり大変ですが、頑張ってください。



東海大学卒
研修医2年目

先輩も同期も互いに高めあう関係が魅力的！

研修医になってあっという間に1年が過ぎようとしています。

4月に入職した当初は右も左もわからず、指導医の後ろに付いていだけで精一杯でしたが、段々できるが増えて、学ぶことがより楽しくなってきました。

そして南多摩医療圏唯一の3次救命救急センターを有する当センターでは本当に様々な症例をfirst touchから診ることが出来ます。研修医は週に1回程度当直に参加します。これは定期的に様々な症例に触れることができるということであり、どの科を選択したとしても知識や思考の偏りなく鑑別する能力を身につけることにつながっていると感じています。ちなみに最初の数か月は1年目と2年目の研修医と一緒に当直に入ることになっており、2年目の先輩に教わりながら救急外来での対応をします。2年目の先輩は本当に頼もしく、多くのことを教わりました。自分も続かなければと焦る気持ちも生まれ、日々勉強する励みにもなっています。同期同士でも、日頃から研修医の間でも新たに得た知識や参加した手技について教えあったり、互いに高めあおうという自然な空気が漂っているところが当センターの魅力だと感じます。

長くいるいる書きましたが、当センターの魅力はここでは語りつくせないほどたくさんあります。病院見学などなかなか来づらいご時世かもしれませんが、実際に見て聞いて感じてもらう以上に当センターの魅力をお伝えできる手段はないと思います。ぜひ1度見学にいらしてみてください。お待ちしております！

■ 研修理念 ■ 東京医科大学八王子医療センター「臨床研修の理念」

東京医科大学の校是である“正義・友愛・奉仕”のもと、以下の3つの理念に則り臨床研修を実施します。

- 1) 患者さんと信頼関係を築き、安心・安全な医療を提供できる医師を育成する。
- 2) 地域医療機関と連携して質の高い医療を提供できる医師を育成する。
- 3) 人間性豊かで人類の福祉と幸せの実現に貢献できる医療人を育成する。